

【登録事業者番号：Z90119JP ，登録事業者事務所名：試験研究センター 本所】

試験方法の区分の名称	製品試験に係る日本工業規格の番号、項目番号及び記号
レディミクストコンクリート試験	<p>試験方法規格            JIS A 1101 「コンクリートのスラブ試験方法」            JIS A 1128 「フレッシュコンクリートの空気量の圧力による試験方法—空気室圧力方法」</p> <hr/> <p>これらを引用する規格            JIS A 5308 「レディミクストコンクリート」 9.3 , 9.5            JIS A 6204 「コンクリート用化学混和剤」 6.1.7a), 6.1.7b) , 6.1.7h) , 6.1.7i)</p>
骨材試験	<p>試験方法規格            JIS A 1102 「骨材のふるい分け試験方法」            JIS A 1103 「骨材の微粒分量試験方法」            JIS A 1104 「骨材の単位容積質量及び実績率試験方法」            JIS A 1105 「細骨材の有機不純物試験方法」            JIS A 1109 「細骨材の密度及び吸水率試験方法」            JIS A 1110 「粗骨材の密度及び吸水率試験方法」            JIS A 1116 「フレッシュコンクリートの単位容積質量試験方法及び空気量の質量による試験方法（質量方法）」            JIS A 1121 「ダンベル試験機による粗骨材のすりへり試験方法」            JIS A 1122 「硫酸ナトリウムによる骨材の安定性試験方法」            JIS A 1134 「構造用軽量細骨材の密度及び吸水率試験方法」            JIS A 1135 「構造用軽量粗骨材の密度及び吸水率試験方法」            JIS A 1137 「骨材中に含まれる粘土塊量の試験方法」            JIS A 1145 「骨材のアルカリシリカ反応性試験方法（化学法）」            JIS A 1205 「土の液性限界・塑性限界試験方法」</p> <hr/> <p>これらを引用する規格            JIS A 5001 「道路用砕石」 5.2、5.3、5.4、5.5            JIS A 5002 「構造用軽量コンクリート骨材」 5.6、5.7、5.8、5.9、5.10、5.11、5.13            JIS A 5005 「コンクリート用砕石及び砕砂」 5.2、5.3、5.4、5.5、5.6、5.7、5.8            JIS A 5011 - 1 「コンクリート用スラグ骨材 - 第1部：高炉スラグ骨材」                              5.3 a)、5.3 b) 5.4、5.7            JIS A 5011 - 2 「コンクリート用スラグ骨材 - 第2部：フェロニッケルスラグ骨材」                              5.3、5.4、5.5、5.6            JIS A 5011 - 3 「コンクリート用スラグ骨材 - 第3部：銅スラグ骨材」                              5.3、5.4、5.5、5.6            JIS A 5011 - 4 「コンクリート用スラグ骨材 - 第4部：電気炉酸化スラグ骨材」                              5.3、5.4、5.5、5.6            JIS A 5015 「道路用鉄鋼スラグ」 6.4、6.5、6.7、6.8            JIS A 5021 「コンクリート用再生骨材 H」 7.6            JIS A 5031 「一般廃棄物，下水汚泥又はそれらの焼却灰を溶融固化した                              コンクリート用溶融スラグ骨材」 5.5、5.6、5.7、5.8、5.9、5.10            JIS A 5308 「レディミクストコンクリート」 附属書 1 の 9.a)、9.b)、9.c)、9.d)、9.e)、                              9.f)、9.g)、9.h)、9.j)、9.k)、9.l)、9.p)</p>
コンクリート・セメント等 無機系材料強度試験	<p>試験方法規格            JIS A 1106 「コンクリートの曲げ強度試験方法」            JIS A 1108 「コンクリートの圧縮強度試験方法」            JIS A 1132 「コンクリートの強度試験用供試体の作り方」            JIS R 5201 「セメントの物理試験方法」 10.</p>

次頁に続く

試験方法の区分の名称	製品試験に係る日本工業規格の番号、項目番号及び記号
コンクリート・セメント等 無機系材料強度試験	これらを引用する規格 JIS A 1107 「コンクリートからのコア及びはりの切り取り方法並びに強度試験方法」 JIS A 5002 「構造用軽量コンクリート骨材」 5.14 f) JIS A 5308 「レディミストコンクリート」 9.2.1、9.2.2 JIS A 5371 「プレキャスト無筋コンクリート製品」 附属書 1 の 5.1、附属書 2 の 5.1、 附属書 3 の 5.1、附属書 4 の 5.1 JIS A 5372 「プレキャスト鉄筋コンクリート製品」 附属書 1 の 6.1、附属書 2 の 6.1、 附属書 3 の 6.1、附属書 4 の 6.1、附属書 5 の 6.1、 附属書 6 の 6.1、附属書 7 の 6.1 JIS A 5373 「プレキャストプレストレストコンクリート製品」 附属書 1 の 6.1、附属書 2 の 6.1、 附属書 3 の 6.1、附属書 4 の 6.1、附属書 5 の 6.1 JIS A 6202 「コンクリート用膨張材」 7.5 JIS A 6204 「コンクリート用化学混和剤」 6.1.7 e) JIS A 6205 「鉄筋コンクリート用防せい剤」 5.3.6 d) JIS A 6511 「空洞プレストレストコンクリートパネ」 9.2 JIS R 5210 「ポルトランドセメント」 7. JIS R 5211 「高炉セメント」 7. JIS R 5212 「シリセメント」 6. JIS R 5213 「フライアッシュセメント」 6.
コンクリート用化学混和剤 試験	試験方法規格 JIS A 1123 「コンクリートのブリーディング試験方法」 JIS A 1147 「コンクリートの凝結時間試験方法」 JIS A 1148 「コンクリートの凍結融解試験方法」 JIS A 6204 「コンクリート用化学混和剤」 附属書 1 ，附属書 2 ----- これらを引用する規格 JIS A 6204 「コンクリート用化学混和剤」 6.1.7c), 6.1.7d), 6.1.7g), 6.2 , 6.3
形状・寸法・質量・密度試験	試験方法規格 JIS A 1129 - 1 「モルタル及びコンクリートの長さ変化試験方法—第 1 部：コンプレタ方法」 JIS A 5208 「粘土がわら」 5.2 JIS A 5402 「プレセメントがわら」 7.2 JIS A 5422 「窯業系サイディング」 7.3 JIS A 5423 「住宅屋根用化粧スレート」 6.2 ----- これらを引用する規格 JIS A 6204 「コンクリート用化学混和剤」 6.1.7f)
建築構成部材防・耐火試験	試験方法規格 JIS A 1301 「建築物の木造部分の防火試験方法」 JIS A 1302 「建築物の不燃構造部分の防火試験方法」 JIS A 1304 「建築構造部分の耐火試験方法」 JIS A 1311 「建築用防火戸の防火試験方法」 ----- これらを引用する規格 JIS A 5801 「建築用防火木材」 4.2.2 JIS A 6501 「建築用構成材(コンクリート壁パネ)」 7.3.5 JIS A 6503 「建築用構成材(鉄鋼系壁パネ)」 7.3.8 JIS A 6504 「建築用構成材(木質系壁パネ)」 7.3.8

次頁に続く

試験方法の区分の名称	製品試験に係る日本工業規格の番号、項目番号及び記号
建築物難燃性試験	<p>試験方法規格 JIS A 1321 「建築物の内装材料及び工法の難燃性試験方法」</p> <hr/> <p>これを引用する規格 JIS A 5414 「パルメント」 6.7 JIS A 5422 「窯業系サイディング」 7.12 JIS A 5423 「住宅屋根用化粧スレート」 6.11 a) JIS A 5430 「繊維強化セメント板」 10.9a) JIS A 5905 「繊維板」 6.26 JIS A 5908 「パテイクルボード」 6.19 JIS A 6301 「吸音材料」 6.2.4h),6.2.6h) JIS A 6512 「可動間仕切」 8.3.2 JIS A 6901 「せっこうボード製品」 7.11</p>
吸音・遮音試験	<p>試験方法規格 JIS A 1409 「残響室法吸音率の測定方法」 JIS A 1416 「実験室における建築部材の空気音遮断性能の測定方法」</p> <hr/> <p>これらを引用する規格 JIS A 4702 「ドアセツ」 9.9 JIS A 4706 「サツ」 9.7 JIS A 6301 「吸音材料」 6.2.1e),6.2.2e),6.2.3e),6.2.4i),6.2.5i),6.2.6i), 6.2.7g),6.2.8f) JIS A 6501 「建築用構成材（コンクリート壁パネ）」 7.3.2 JIS A 6503 「建築用構成材（鉄鋼系壁パネ）」 7.3.2 JIS A 6504 「建築用構成材（木質壁パネ）」 7.3.2 JIS A 6505 「建築用構成材（コンクリート床パネ）」 7.3.2 JIS A 6506 「建築用構成材（木質床パネ）」 7.3.2 JIS A 6507 「建築用構成材（鉄鋼系床パネ）」 7.3.2 JIS A 6508 「建築用構成材（コンクリート屋根パネ）」 7.3.2 JIS A 6512 「可動間仕切り」 8.2.2</p>
ボード類強度試験	<p>試験方法規格 JIS A 1408 「建築用ボード類の曲げ及び衝撃試験方法」 JIS A 5102 「天然スレート」 6.2、6.3 JIS A 5208 「粘土がわら」 5.3 JIS A 5402 「プレセメントがわら」 7.3 JIS A 5411 「テラゾ」 6.5 JIS A 5422 「窯業系サイディング」 7.6 JIS A 5423 「住宅屋根用化粧スレート」 6.3、6.7</p> <hr/> <p>これらを引用する規格 JIS A 5422 「窯業系サイディング」 7.5</p>
材料断熱性試験	<p>試験方法規格 JIS A 1412-1 「熱絶縁材の熱抵抗及び熱伝導率の測定方法 - 第1部：保護熱板法（GHP法）」 JIS A 1412-2 「熱絶縁材の熱抵抗及び熱伝導率の測定方法 - 第2部：熱流計法（HFM法）」 JIS A 1420 「建築用構成材の断熱性測定方法 - 校正熱箱法及び保護熱箱法」</p>

試験方法の区分の名称	製品試験に係る日本工業規格の番号、項目番号及び記号
材料断熱性試験	<p>これらを引用する規格</p> <p>JIS A 5212 「ガラスブロック(中空)」6.6</p> <p>JIS A 5416 「軽量気泡コンクリート板(ALC板)」9.7.3</p> <p>JIS A 5426 「スレート・木毛セメント積層板」6.6</p> <p>JIS A 5430 「繊維強化セメント板」10.8</p> <p>JIS A 5905 「繊維板」6.15</p> <p>JIS A 5908 「ボード」6.18</p> <p>JIS A 6901 「せっこうボード製品」7.12</p> <p>JIS A 9504 「人造鉱物繊維保温材」6.5 a)、6.5 b)、6.5 c)</p> <p>JIS A 9510 「無機多孔質保温材」6.11 a)、6.11 b)</p> <p>JIS A 9511 「発泡プラスチック保温材」5.7</p> <p>JIS A 9521 「住宅用人工造鉱物繊維断熱材」7.4</p> <p>JIS A 9523 「吹込み用繊維質断熱材」6.1</p> <p>JIS A 9526 「吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材」6.2.6</p>
気密・水密・耐風圧試験	<p>試験方法規格</p> <p>JIS A 1414 「建築用構成材(板)及びその構造部分の性能試験方法」6.5</p> <p>JIS A 1515 「建具の耐風圧性試験方法」</p> <p>JIS A 1516 「建具の気密性試験方法」</p> <p>JIS A 1517 「建具の水密性試験方法」</p> <p>JIS A 4706 「サッシ」9.5</p> <hr/> <p>これらを引用する規格</p> <p>JIS A 4702 「ドアセット」9.6、9.7、9.8</p> <p>JIS A 4706 「サッシ」9.3、9.4</p> <p>JIS A 6501 「建築用構成材(コンクリート壁板)」7.3.3</p> <p>JIS A 6503 「建築用構成材(鉄鋼系壁板)」7.3.3</p> <p>JIS A 6504 「建築用構成材(木質壁板)」7.3.3</p> <p>JIS A 6505 「建築用構成材(コンクリート床板)」7.3.3</p> <p>JIS A 6508 「建築用構成材(コンクリート屋根板)」7.3.3</p> <p>JIS A 6509 「建築用構成材(木質屋根板)」7.3.3</p> <p>JIS A 6510 「建築用構成材(鉄鋼系屋根板)」7.3.3</p>
建築構成部材断熱性試験	<p>試験方法規格</p> <p>JIS A 1414 「建築用構成材(板)及びその構造部分の性能試験方法」6.6</p> <hr/> <p>これを引用する規格</p> <p>JIS A 6501 「建築用構成材(コンクリート壁板)」7.3.1</p> <p>JIS A 6503 「建築用構成材(鉄鋼系壁板)」7.3.1</p> <p>JIS A 6504 「建築用構成材(木質壁板)」7.3.1</p> <p>JIS A 6505 「建築用構成材(コンクリート床板)」7.3.1</p> <p>JIS A 6506 「建築用構成材(木質床板)」7.3.1</p> <p>JIS A 6507 「建築用構成材(鉄鋼系床板)」7.3.1</p> <p>JIS A 6508 「建築用構成材(コンクリート屋根板)」7.3.1</p> <p>JIS A 6509 「建築用構成材(木質屋根板)」7.3.1</p> <p>JIS A 6510 「建築用構成材(鉄鋼系屋根板)」7.3.1</p>
建築構成部材曲げ・圧縮・面内せん断試験	<p>試験方法規格</p> <p>JIS A 5506 「下水道用マンホールふた」8.1</p>
建築構成部材衝撃・硬さ・弾力試験	<p>試験方法規格</p> <p>JIS A 1518 「ドアセットの砂袋による耐衝撃性試験方法」</p> <hr/> <p>これを引用する規格</p> <p>JIS A 4702 「ドアセット」9.5</p>

次頁に続く

試験方法の区分の名称	製品試験に係る日本工業規格の番号、項目番号及び記号
床衝撃音・床鳴り防止性試験	<p>試験方法規格            JIS A 1418 - 1 「建築物の床衝撃音遮断性能の測定方法            - 第 1 部：標準軽量衝撃源による方法」            JIS A 1418 - 2 「建築物の床衝撃音遮断性能の測定方法            - 第 2 部：標準重量衝撃源による方法」</p> <hr/> <p>これらを引用する規格            JIS A 6506 「建築用構成材（木質床<sup>パ</sup><sub>ル</sub>）」7.3.3            JIS A 6507 「建築用構成材（鉄鋼系床<sup>パ</sup><sub>ル</sub>）」7.3.3</p>
耐凍害性試験	<p>試験方法規格            JIS A 5208 「粘土がわら」5.5</p>
機械的耐久性試験	<p>試験方法規格            JIS A 1525 「ド<sup>ア</sup>レットの開閉繰返し試験方法」</p> <hr/> <p>これを引用する規格            JIS A 4702 「ド<sup>ア</sup>レット」9.4 a)</p>
金属系材料・部品等強度試験	<p>試験方法規格            JIS A 1523 「ド<sup>ア</sup>レットのねじり強さ試験方法」            JIS A 1524 「ド<sup>ア</sup>レットの鉛直載荷試験方法」</p> <hr/> <p>これらを引用する規格            JIS A 4702 「ド<sup>ア</sup>レット」9.1、9.2</p>
水特性試験	<p>試験方法規格            JIS A 5208 「粘土がわら」5.4            JIS A 5402 「プレセメントがわら」7.4、7.5            JIS A 5422 「窯業系サイディング」7.4、7.10            JIS A 5423 「住宅屋根用化粧スレート」6.4、6.6</p>
石灰・セメント・ガラス化学分析試験	<p>試験方法規格            JIS A 5002 「構造用軽量コンクリート骨材」5.5            JIS R 5202 「ポ<sup>ル</sup>ランドセメントの化学分析方法」</p> <hr/> <p>これらを引用する規格            JISA 5308 「レ<sup>イ</sup>ミキストコンクリート附属書 1 の 9. r )            JIS R 5210 「ポ<sup>ル</sup>ランドセメント」7.            JIS R 5211 「高炉セメント」7.            JIS R 5212 「シリセメント」6.            JIS R 5213 「フライッシュセメント」6.            JIS R 5214 「エコセメント」8.</p>
接着剤等接着・はく離試験	<p>試験方法規格            JIS A 5422 「窯業系サイディング」7.7</p>
セメント・混和剤（材）試験	<p>試験方法規格            JIS R 5201 「セメントの物理試験方法」6、7、8、9、11.            JIS R 5203 「セメントの水和熱測定方法（溶解熱方法）」</p> <hr/> <p>これらを引用する規格            JIS R 5210 「ポ<sup>ル</sup>ランドセメント」7.            JIS R 5211 「高炉セメント」7.            JIS R 5212 「シリセメント」6.            JIS R 5213 「フライッシュセメント」6.            JIS R 5214 「エコセメント」8.</p>

試験方法の区分の名称	製品試験に係る日本工業規格の番号、項目番号及び記号
金属材料引張試験	<p>試験方法規格 JIS Z 2241「金属材料引張試験方法」</p> <hr/> <p>これを引用する規格 JIS A 5523「溶接用熱間圧延鋼矢板」10.2.3 a) JIS A 5526「H型鋼ぐい」8.2.3 JIS A 5528「熱間圧延鋼矢板」8.2.3 JIS G 3101「一般構造用圧延鋼材」8.2.5 a) JIS G 3106「溶接構造用圧延鋼材」10.2.3 a) JIS G 3108「みがき棒鋼用一般鋼材」7.2.3 JIS G 3112「鉄筋コンクリート用棒鋼」9.2.3 JIS G 3117「鉄筋コンクリート用再生棒鋼」7.1.3 JIS G 3123「みがき棒鋼」8.3 a) JIS G 3137「線径異形 PC 棒鋼」9.2.2a) JIS G 3444「一般構造用炭素鋼鋼管」9.2.2b)</p>
高分子引張試験	<p>試験方法規格 JIS K 6740 - 2「プラスチック - 無可塑ポリ塩化ビニル (PVC - U) 成形用及び押出用材料 - 第 2 部：試験片の作り方及び諸性質の求め方」 JIS K 6769「架橋ポリエチレン管」9.3 JIS K 6778「ポリプロピレン管」10.3 JIS K 6787「水道用架橋ポリエチレン管」9.3 JIS K 6792「水道用ポリプロピレン管」9.3 JIS K 6815 - 1「熱可塑性プラスチック管 - 引張特性の求め方 - 第 1 部：一般試験方法」 JIS K 6815 - 2「熱可塑性プラスチック管 - 引張特性の求め方 - 第 2 部：硬質塩化ビニル (PVC-C) 管及び耐衝撃性硬質塩化ビニル (PVC-HI) 管」 JIS K 7113「プラスチックの引張試験方法」 JIS K 7161「プラスチック - 引張特性の試験方法 - 第 1 部：通則」 JIS K 7162「プラスチック - 引張特性の試験方法第 2 部：型成形、押出成形及び注型プラスチックの試験条件」</p> <hr/> <p>これらを引用する規格 JIS K 6719 - 2「プラスチック - ポリカーボネート (PC) 成形用材料及び押出用材料 - 第 1 部：分類の体系及び仕様作成のための基準」表 3 JIS K 6746「プラスチック溶接棒」7.4 JIS K 6780「耐圧ポリエチレン管」10.1 JIS K 6919「繊維強化プラスチック用液状不飽和ポリエステル樹脂」5.3.5 JIS K 6921 - 2「プラスチック - ポリプロピレン (PP) 成形用及び押出用材料 - 第 2 部：試験片の作り方及び諸性質の求め方」表 3 JIS K 6922 - 2「プラスチック - ポリエチレン (PE) 成形用及び押出用材料 - 第 2 部：試験片の作り方及び諸性質の求め方」表 3 JIS K 7011「構造用ガラス繊維強化プラスチック」5.2、5.3 (1) JIS K 7012「ガラス繊維強化プラスチック製耐食貯槽」9.2.2</p>
金属材料曲げ試験	<p>試験方法規格 JIS Z 2248「金属材料曲げ試験方法」</p> <hr/> <p>これを引用する規格 JIS G 3117「鉄筋コンクリート用再生棒鋼」7.1.3</p>